

# 南海トラフの巨大地震に関する国の想定を受けた 今後の黒潮町の対応について



3月31日に、南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高の推計が、国（内閣府）から第1次報告として公表されました。

その内容では、黒潮町においては「最大震度7、最大津波高34.4m」という大変厳しい数字が示されています。

ただ、今回の推計は、東日本大震災の教訓を踏まえた新たな考え方として、あらゆる可能性を考慮し、現時点の最新の科学的知見に基づき、最大クラスの地震・津波を想定したものであって、南海トラフ沿いにおいて必ずしも次に起こる地震・津波を予測したのではなく、発生確率を念頭に地震・津波を想定したものでありません。

しかしながら、今回の公表内容が、昨年の東北地方太平洋沖地震の発生以降、関係機関と知恵を出し合い、住民の皆さんとも協議しつつ慎重に見直してきた、黒潮町の防災計画と対策事業をさらに見直さなければならぬ、極めて厳しいものであるという現実を受け止めなければなりません。

当然のことですが、黒潮町では、

いかなる困難な状況に直面しようとも、まず住民の皆さんの命を守ることを大原則としながら、これからも豊かなまちづくりを推進し、先人から受け継いだ「ふるさと」を次の世代へしっかりと引き継いでいく取り組みを続けていくことに変わりありません。

今回の公表では、最大津波高の発生地点、遡上高、浸水域、浸水深などの詳しいデータが未公表となっており、今後結果がまとまった段階で順次公表予定となります。

今回の公表結果および今後の公表される詳細な情報を受け、住民の皆さんの安全確保のため、黒潮町の津波対策を、町の緊急かつ最重要課題と位置付け、公表情報の精査、必要な情報の収集、防災計画の見直し、関連する都市整備計画等の見直しの是非、早期の対策事業の推進を図っていききたいと考えています。

なお、当面予定される南海トラフの巨大地震対策のスケジュールの概要は、下記をご覧ください。

## 南海トラフの巨大地震対策のスケジュール ※4月20日現在の予定です。

- 4月末ごろ**
  - 国から10mメッシュ津波高、浸水域、液状化危険度、時間差発生、長周期地震動などの詳細情報等の公表
  - 高知県が第1弾の地震動・津波浸水予測結果の公表（国の結果をベースに暫定推計）
  - （国および県の公表があり次第）町内詳細情報の集約・分析
- 6月ごろ**
  - 国が直接的被害（建物・人的被害）推計の公表
- 夏ごろ**
  - 国が当面実施すべき南海トラフの巨大地震対策のとりまとめ
- 秋ごろ**
  - 国が経済被害等推計の公表
  - 県が第2弾の地震動・津波浸水予測結果公表（最終予測結果公表）
- 冬ごろ**
  - 国が南海トラフの巨大地震対策の全体像とりまとめ

### 〈平成24年度中〉

- 高知県が地域防災計画等関連計画の見直し
- 黒潮町地域防災計画の見直し

○お問い合わせ 本庁 情報防災課 南海地震対策係 ☎43-2188(直通)